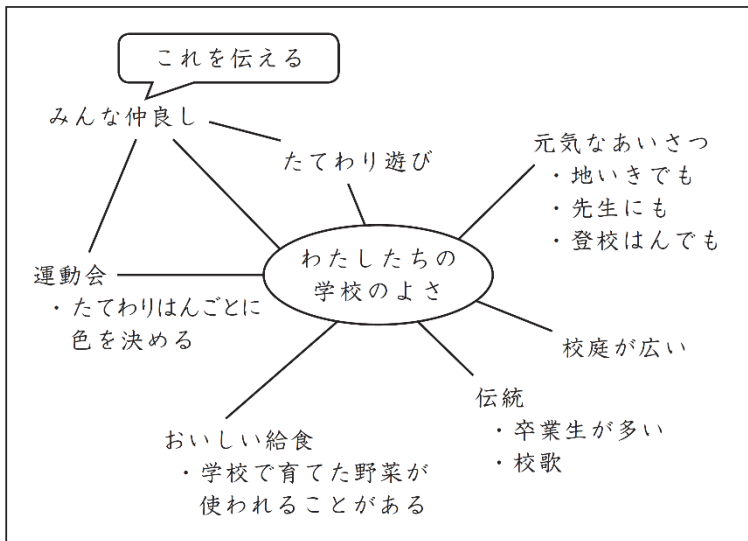


2 高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



一 【高山さんのメモ】と【高山さんの考え】について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高山さんは、文章に書くことを決めるために、どのように考えましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 賛成と反対の両方の立場から考えた。
- 2 書きやすい順番を考えた。
- 3 他の人の考えを取り入れて考えた。
- 4 集めた情報の共通点を考えた。

解答らん

(2) 【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 出来事が起こった順に言葉を線をつないでいる。
- 2 中央の言葉と関係する言葉を線をつないでいる。
- 3 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。
- 4 よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

三 高山さんは、【高山さんの文章】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字で書いてねいに書きましよう。

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

解答らん

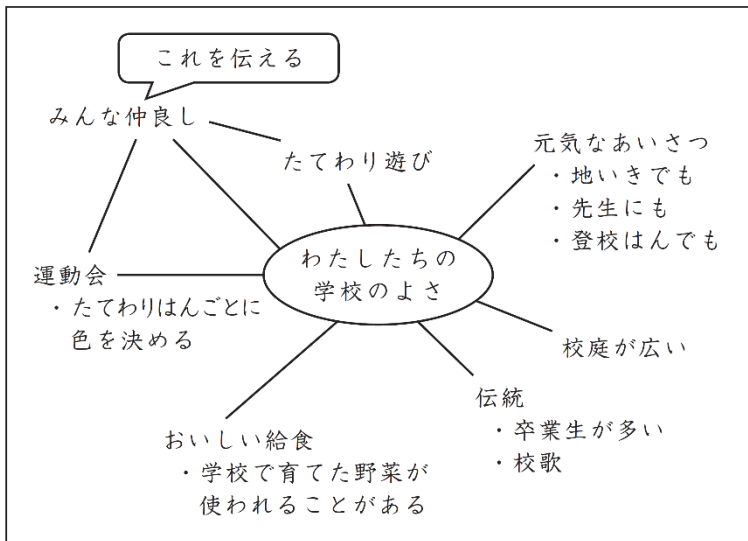
上級生が速くからボールを イ 上げる

解答らん

(げる)

2 高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことにしました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



一 【高山さんのメモ】と【高山さんの考え】について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高山さんは、文章に書くことを決めるために、どのように考えましたか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 賛成と反対の両方の立場から考えた。
- 2 書きやすい順番を考えた。
- 3 他の人の考えを取り入れて考えた。
- 4 集めた情報の共通点を考えた。

解答らん

4

(2) 【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 出来事が起こった順に言葉を線をつないでいる。
- 2 中央の言葉と関係する言葉を線をつないでいる。
- 3 似ていることがらをまとめて丸で囲んでいる。
- 4 よい点と問題点を分けて丸で囲んでいる。

解答らん

2

※ 問題は、次のページに続きます。

※ 問題は、次のページに続きます。

解答らん

例

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができるどころだと思っています。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アキょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイ^イなげるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

6年生がくふうしていること

- 遊びたいことを下級生に聞く
- ルールをくふうする

ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる

下級生に聞いたこと

- 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
- 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
- 4年生 みんなが楽しそうであれしかった

- 〈条件〉
- 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
 - 「高山さんの取材メモ」の下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

二 高山さんは、次の【高山さんの文章】の に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたが高山さんなら、 に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

三 高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字で書いてねいに書きました——部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の——

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

解答らん

競技

上級生が速くからボールを イ 上げる

解答らん

投 (げる)